

第18回鋼構造基礎講座

鋼橋の維持管理

—予防保全の動向と自治体の取組み—

平成21年12月

土木学会 鋼構造委員会
鋼構造継続教育推進小委員会



B 1 1 0 8 1 1 9 B
土 木 図 書 館

第 18 回鋼構造基礎講座

鋼橋の維持管理

--- 予防保全の動向と自治体の取組み ---

登録 番号	平成22年3月18日
	第 57341 号
社団法人 土木学会	
附 属 土木図書館	

平成 21 年 12 月

土木学会 鋼構造委員会

鋼構造継続教育推進小委員会

まえがき

近年、土木学会内では土木技術者の生涯学習の必要性が強く認識され、具体的な生涯教育プログラムが策定、実行され成果をあげつつあります。最新・最先端技術に関しては鋼構造委員会の小委員会で調査研究が行われ、委員会活動中の中間報告あるいは終了後の活動報告としてシンポジウム等で紹介、報告され CPD ポイントとして生涯活動に活かされております。しかし、これらの小委員会活動は比較的専門性が高く、シンポジウムの内容も開発研究的な要素が多いことから、中級、上級技術者を対象とした継続教育プログラムと位置付けられます。一方、初級、中級技術者や上級技術者でも専門分野外の基礎技術を習得するための継続教育を目的とした講習会は残念ながら意外に少ないのが現状です。

このような背景から、鋼構造委員会では鋼構造継続教育推進小委員会を設置し、若手技術者および、今まで当該のトピックを専門としていない技術者を対象に基礎的な講習会を実施してまいりました。そして今回、鋼橋の維持管理に関する基礎的な理解を深めていただくことを目的として、第 18 回鋼構造基礎講座「鋼橋の維持管理—予防保全の動向と自治体の取組み—」を企画しました。

昨今の国内外における落橋や鋼トラス部材の破断事故などを受け、我が国においても道路橋の予防保全に向けた有識者会議の開催や地方自治体における長寿命化修繕計画の推進など、老朽化する橋梁の予防保全への取組みが急務となっています。しかしながら橋梁維持管理の実態は、財政的な問題や技術者の人材不足などにより点検もままならない地方自治体が多く存在するのが現状です。

このため本基礎講座では、橋梁維持管理を効率的に行うためのアセットマネジメントの考え方と、維持管理を実施する上で基本となる点検・診断から健全性の評価・対策に至る維持管理の一連の流れを説明するとともに、自治体における予防保全の具体的なアセットマネジメント取組み事例を紹介いたします。講師はいずれもこの分野の専門の方々です。

本講座が、若手技術者の方や、鋼構造物の設計、製作、施工に携わられる方々にとって有意義なものとなれば幸いです。

平成 21 年 12 月

鋼構造継続教育推進小委員会

委員長 五十畑 弘

目 次

1. 鋼橋の予防保全に向けた動向…………… 1

国土交通省 国土技術政策総合研究所 西川和廣

2. 地方自治体の長寿命化修繕計画に関する最近の動向…………… 5

国土交通省 道路局 信太啓貴

3. 鋼橋の点検・調査・診断・対策技術について…………… 13

— CAESAR の取組み —

(独) 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 村越潤

4. 戦略的なアセットマネジメントの取組み…………… 27

～ 次世代へ貴重な資産を継承～

東京都 建設局 高木千太郎

5. 青森県における橋梁アセットマネジメントの取組み…………… 43

青森県 道路課 柴田司, 河原木英貴